


全国港湾Fax通信

No.

(公・事・取扱注意・親展)(写)	(発番) 全国港湾22FAX第59号
(宛先)	2023年 2月15日 時 分
各 四役、中執、単組委員長、地区港湾議長 殿	(発信者) 全国港湾書記局 
(件名)	

23春闘第1回中央港湾団交の経過について

(本文)

1. 全国港湾と港運同盟は、2月15日(水)13:00から芝浦サービスセンター会議室(東京港)において23春闘第1回中央港湾団交を開催し、組合側より要求趣旨説明を行った。

趣旨説明は、感染防止のために趣旨説明書を添えて提出した。

趣旨説明のなかで特に強調したのは、22春闘協定は履行されている項目とそうでない項目があり、労働協約は、港湾労使の「義務」であり、履行できないのは業側の問題である。今春闘の現状を理解し、政・労・使で各課題に取り組んで港湾労働の労働環境と地位向上を目指すべきであるとし趣旨説明を行った。また、組合側から、安全専門委員会課題が多く山積しているので委員会の早期開催を要請した。

2. 業側は、趣旨説明を受けて理解するが、どこまで実現するかを内部検討と集約を行いたいとし、次回団交を3月15日(水)13:30から開催することを提案した。組合側はこれを了承して団交を終了した。(14:00終了)

3. 趣旨説明は、添付資料を参照。

以 上

<添 付 >

- ① 2023年度 産別労働条件および産別協定の改定に関する要求<趣旨説明>、
- ② 港湾労働者の命と安全を確保するために港湾を兵站基地にしないことを求める要求書<趣旨説明>